



立春は春の始まり…希望をもって

立春は、春の始まりとされる日です。四季の最初は「立春」「立夏」「立秋」「立冬」、この4つを「四立(しりゅう)」と言い、四立の前日は「節分」と呼ばれました。特に立春は、一年の始まりの日とされていたため、立春の前日の節分は、1年の終わりであり大晦日ともいえる大事な日として、今も節分行事が行われています。



節分の日には、季節の変わり目に生じると信じられていた邪気(鬼)を追い払う「豆まき」行事が行われます。病気や災害を鬼に見立てて追い払おうとした昔の人の思いは、今日の新型コロナウイルスやインフルエンザのウイルスに対するものと変わらないかもしれません。しかしながら、感染者を鬼に見立て、感染の責任は当事者にあるとして、偏見の目で見ることのないよう気をつけることが大切です。

そんな鬼をめぐる昔話といえば、「桃太郎」が思い浮かびますが、「ないた赤おに」や「島ひきおに」といった鬼のイメージを覆すお話もあります。学校では、こうしたお話を教材にするなどして、人権学習を行っています。イメージやうわさ、表面的な行動などだけで判断するのではなく、正しい目で物事を見つめ行動できる力を育てています。

1月1日に発生した能登半島地震は、多数の死者を出すほどの大きな被害をもたらし、今も復旧の糸口が見えない状況です。この地震を邪鬼が起こした天災としてあきらめたり、ましてや無関心であったりするのではなく、子どもたちには、今何が起きているのかをしっかりと意識してほしいです。被災地の厳しい現実をしっかりと見つめ、その場で起きていることについて、その善悪を判断する、ご家庭でも話題にあげていただくことで、そのような機会をぜひとも増やしてあげてほしいです。

今年に入り、感染症による出席停止者は少数にとどまっています。3学期、そして今年度も残り2ヶ月となりました。子どもたち誰もが明るい希望をもって進学・進級できるよう、しっかりと体調管理をしていきたいところです。ご家庭でもご協力のほどよろしくお願いいたします。

赤十字募金 1月18日(木)・19日(金)

児童会(計画委員会)が二日間、登校時に玄関前で赤十字の募金活動を行いました。今回は、前日のお昼の放送で、児童会が能登半島地震のことにふれながら募金の呼びかけをしたり、放送委員会が「今日は何の日」で阪神淡路大震災(1995年1月17日)のことを紹介したりするなど、災害や被災した人たちのことを考えての募金活動となりました。

集まった募金(29,021円)は、全額能登に送られます。ご協力ありがとうございました。

2月の行事予定

1日(木)	新入生体験入学	20日(火)	授業参観・学級懇談(4~6年)
5日(月)	全校朝会 防犯ブザー点検	21日(水)	クラブ
7日(水)	委員会	27日(火)	短歌教室(6年)
14日(水)	代表委員会	28日(水)	口座振替日
16日(金)	授業参観・学級懇談(1~3年) スクールカウンセラー相談日	3月1日(金)	6年生を送る会
		3月4日(月)~	卒業式(3/19)準備・練習